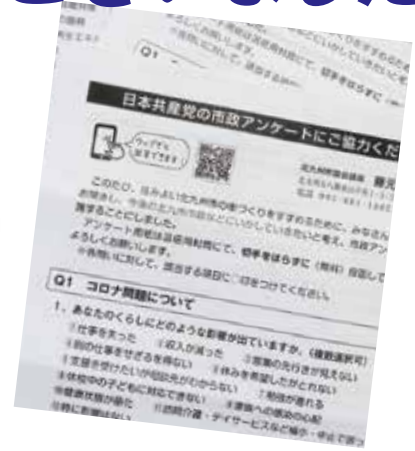


～市政アンケートへのご協力ありがとうございました～

あなたの声を届けて がんばります



日本共産党北九州市議員団が行った市政アンケートへ2483通を超える回答が寄せられました。早速11月9日には、市政アンケートの声をもとに市長へ申し入れを行いました。また、ご意見や要望が多数記載され、今後の議会論戦や調査活動に活かしていきます。ありがとうございました。その主な内容についてご報告します。

日本共産党

新型コロナ 「PCR検査の強化」を願う声がたくさん！



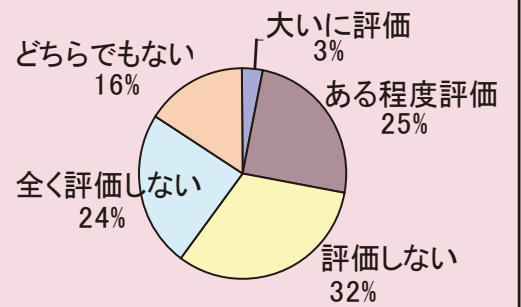
PCR検査 ドライブスルー

新型コロナウイルスの2・3波に向けて、特に強めてほしい感染予防対策について聞いたところ、289件の意見をいただきました。

一番多かったのがPCR検査に関する意見で50件を超えています。主なものは「無料または低額で検査を」「いつでも、どこでも検査できるように市の予算を」「PCR検査を身近なところでできるように」「学校や病院関係者、介護施設従事者を先にPCR検査を」などの意見です。

「後手後手の施策」

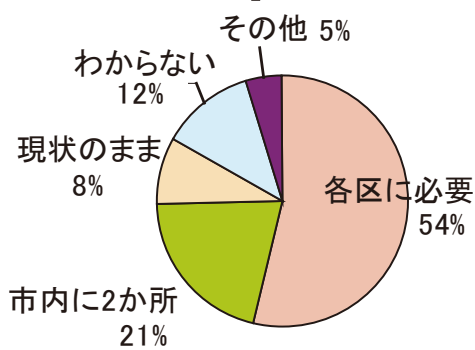
—前政権のコロナ対策評価—



前安倍政権のコロナ対策への評価では、「評価しない」が56%で、「評価する」28%と比べてダブルスコアとなっています。

その理由の記載では、「アベのマスクはムダづかい」「思い付きのマスク」などマスクへの批判が数多く、「後手後手の政策」「PCR検査が消極的」などの声が多く書かれています。

「保健所をふやす」が75%



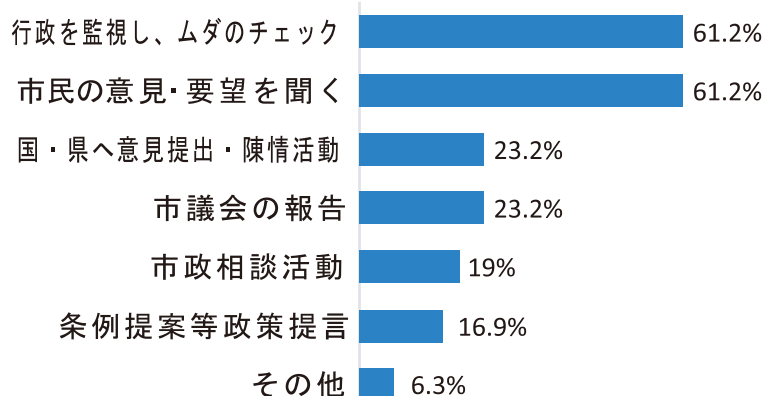
問い；保健所の体制について

保健所の体制については、「各区に保健所が必要」が54%と一番多く、2番目は「少なくとも市内2カ所に必要」で21%です。3番目が「わからない」12%となっています。

その他記載には「保健所が1カ所と初めて知った」「保健所の役割がよくわからない」などです。「コロナ問題で保健所の大事さに気づかされた」なども書かれています。

市議員に望むこと—「行政を監視し、ムダづかいのチェック」

問い：市議会議員に何を望むか（複数選択可）



市議会議員に望むことで、一番多いのは「行政を監視し、ムダな事業をチェックすること」で、つづいて「市民の意見・要望をよく聞くこと」と並んでいます。

次に多いのは「国や福岡県への意見提出・陳情活動に取り組むこと」で、つづいて「市議会の様子を知らせること」となっています。

その他の記載では、「お金がかかるが、年に1度でも意見を聞くことを希望する」や「住民の生活を調査・分析してほしい」などの市政アンケートへの要望の声があります。一方、「議員報酬もらいすぎ、海外視察のテレビに腹が立つ」と、海外視察等への厳しい批判が書かれています。